平成25年１月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年９月３日

上場会社名　　株式会社アマガサ　　上場取引所　大
コード番号　　3070　　ＵＲＬ　http://www.amagasa-co.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）天笠 竜蔵
問合せ先責任者　（役職名）経営企画室長　　（氏名）西山 泰敬　　ＴＥＬ　03-3871-0111

四半期報告書提出予定日　　平成24年９月11日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年１月期第２四半期の連結業績（平成24年２月１日～平成24年７月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年１月期第２四半期	3,046	6.8	165	59.0	169	70.2	98	105.1
24年１月期第２四半期	2,852	△11.0	104	△42.9	99	△44.2	48	△53.4

（注）包括利益　　25年１月期第２四半期　105百万円（116.1%）　　24年１月期第２四半期　48百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年１月期第２四半期	10,852.14	－
24年１月期第２四半期	5,325.63	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年１月期第２四半期	5,714	1,715	30.0
24年１月期	5,471	1,588	29.0

（参考）自己資本　　25年１月期第２四半期　1,715百万円　　24年１月期　1,588百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年１月期	－	0.00	－	3,200.00	3,200.00
25年１月期	－	0.00			
25年１月期（予想）			－	3,200.00	3,200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年１月期の連結業績予想（平成24年２月１日～平成25年１月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,103	5.8	358	22.6	345	22.8	194	14.2	21,620.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①	会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②	①以外の会計方針の変更	：無
③	会計上の見積りの変更	：無
④	修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①	期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年１月期２Ｑ	9,600株	24年１月期	9,600株
②	期末自己株式数	25年１月期２Ｑ	284株	24年１月期	584株
③	期中平均株式数（四半期累計）	25年１月期２Ｑ	9,073株	24年１月期２Ｑ	9,016株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

・当社は、平成24年９月14日（金）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、６月の有効求人倍率が13ヶ月連続で改善し0.82倍となったほか、完全失業率も２ヶ月連続で改善し4.3%となるなど、一部で景気の持ち直しの動きがみられました。一方、７月の倒産件数に占める不況型倒産の割合が38ヶ月連続して80%を超えるなど依然として厳しい事業環境となりました。

当社が属する婦人靴業界におきましては、商品の低価格化が一層顕著となりました。こうした環境のもと、当第２四半期連結累計期間において当社は、自社企画力を生かしたより魅力的な商品の開発と直輸入比率の向上による原価の低減に努めました。

小売事業においては、店頭ニーズを反映したＭＤ、取扱商品点数の絞込みや売れ筋商材の積込みに注力した結果、既存店売上が二桁増となったことに加え、新店売上も堅調に推移したことから全店ベースの売上高、営業利益とも上場来最高となりました。また、JELLY BEANS札幌ステラプレイス店を閉鎖する一方、JELLY BEANSつくばクレオスクエアＱ’ｔ店、アトレ松戸店、ららぽーと磐田店を出店致しました。これにより、７月31日現在の直営店舗数は20店舗となりました。

卸売事業においては、百貨店及び通販事業者向け販売が堅調に推移したほか、ＷＥＢ自社販売が大きく伸長したものの、専門店、スーパー・ＧＭＳ顧客向け販売の下落傾向が続いたことや、アパレル顧客向け販売が不調であったことから売上高は前年並みとなりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間につきましては、売上高3,046百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益165百万円(同59.0%増)、経常利益169百万円(同70.2%増)、四半期純利益98百万円(同105.1%増)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,063百万円（前連結会計年度末は1,820百万円）となり、243百万円増加しました。主な理由は、売上債権の増加（858百万円から1,034百万円へ176百万円増）、現金及び預金の増加（768百万円から818百万円へ50百万円増）であります。

また、固定資産の残高は、3,650百万円（前連結会計年度末は3,650百万円）となり、０百万円減少しました。主な理由は、固定資産の取得による増加（62百万円増）、減価償却による減少（91百万円減）及び差入保証金の増加（23百万円増）であります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,768百万円（前連結会計年度末は1,500百万円）となり、268百万円増加しました。主な理由は、仕入債務の増加（468百万円から634百万円へ165百万円増）、未払法人税等の増加（26百万円から77百万円へ51百万円増）及び１年内返済予定の長期借入金の増加（816百万円から845百万円へ28百万円増）であります。

また、固定負債の残高は、2,229百万円（前連結会計年度末は2,381百万円）となり、151百万円減少しました。主な理由は、役員退職慰労引当金の減少169百万円、運転資金の調達による長期借入金の増加（2,007百万円から2,021百万円へ13百万円増）であります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,715百万円（前連結会計年度末は1,588百万円）となり、126百万円増加しました。主な理由は、四半期純利益の計上98百万円による増加、配当金の支払い28百万円による減少及び自己株式の処分49百万円による増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、591百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は79百万円（前年同期は133百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益168百万円、仕入債務の増加額165百万円及び減価償却費91百万円に対し、売上債権の増加額175百万円、役員退職慰労金の支払額156百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は22百万円（前年同期は19百万円の収入）となりました。

これは主に、定期預金の預入による支出126百万円、有形固定資産の取得による支出35百万円及び差入保証金の差入による支出32百万円に対し、定期預金の払戻による収入165百万円、差入保証金の回収による収入10百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は30百万円（前年同期は34百万円の収入）となりました。

これは、長期借入れによる収入500百万円、自己株式の処分による収入49百万円に対し、長期借入金の返済による支出457百万円、リース債務の返済による支出32百万円及び配当金の支払額29百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成24年６月４日付公表「平成25年１月期第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の数値より変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（役員退職慰労引当金）

当社は、平成23年10月３日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度を平成24年１月31日をもって廃止することを決議いたしました。また、平成24年４月26日開催の定時株主総会において、本制度廃止日までの在任期間に対応する退職慰労金を打切り支給することとし、その支給の時期は、各役員の退任時とすることを決議いたしました。

これに伴い、本制度廃止日までの期間に対応する役員退職慰労引当金169百万円を流動負債の「その他」（156百万円）及び固定負債の「その他」（12百万円）へ振り替えております。なお、流動負債のその他156百万円につきましては、当第２四半期連結会計期間において支払を完了しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	768,033	818,110
受取手形及び売掛金	858,105	1,034,712
商品及び製品	181,536	200,626
その他	22,306	21,586
貸倒引当金	△9,300	△11,300
流動資産合計	1,820,681	2,063,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,651,566	1,627,548
土地	1,529,346	1,529,346
その他（純額）	151,084	158,282
有形固定資産合計	3,331,997	3,315,177
無形固定資産	56,287	46,306
投資その他の資産	262,223	288,939
固定資産合計	3,650,508	3,650,423
資産合計	5,471,189	5,714,159
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	468,180	634,155
1年内返済予定の長期借入金	816,798	845,668
未払法人税等	26,129	77,335
返品調整引当金	7,300	8,400
その他	182,436	203,316
流動負債合計	1,500,843	1,768,874
固定負債		
長期借入金	2,007,447	2,021,397
退職給付引当金	89,268	88,191
役員退職慰労引当金	169,083	－
その他	115,658	120,011
固定負債合計	2,381,457	2,229,600
負債合計	3,882,301	3,998,475

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年７月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,100	308,100
資本剰余金	230,600	230,600
利益剰余金	1,199,307	1,243,654
自己株式	△146,116	△71,056
株主資本合計	1,591,890	1,711,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,836	7,323
為替換算調整勘定	△4,838	△2,937
その他の包括利益累計額合計	△3,001	4,386
純資産合計	1,588,888	1,715,684
負債純資産合計	5,471,189	5,714,159

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年２月１日 至　平成23年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年２月１日 至　平成24年７月31日）
売上高	2,852,671	3,046,062
売上原価	1,830,062	1,931,849
売上総利益	1,022,608	1,114,213
販売費及び一般管理費	918,403	948,538
営業利益	104,205	165,674
営業外収益		
仕入割引	20,340	22,986
その他	8,061	10,818
営業外収益合計	28,401	33,805
営業外費用		
支払利息	27,985	25,487
その他	5,217	4,820
営業外費用合計	33,203	30,308
経常利益	99,402	169,171
特別利益		
貸倒引当金戻入額	417	－
特別利益合計	417	－
特別損失		
減損損失	3,735	－
固定資産除却損	179	400
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,667	－
特別損失合計	11,582	400
税金等調整前四半期純利益	88,237	168,771
法人税等	40,221	70,310
少数株主損益調整前四半期純利益	48,015	98,461
四半期純利益	48,015	98,461

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年２月１日 至　平成23年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年２月１日 至　平成24年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	48,015	98,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	395	5,486
為替換算調整勘定	560	1,901
その他の包括利益合計	956	7,387
四半期包括利益	48,972	105,849
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,972	105,849
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年２月１日 至　平成23年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年２月１日 至　平成24年７月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	88,237	168,771
減価償却費	85,651	91,578
減損損失	3,735	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,006	△1,077
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4,674	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,582	△1,062
返品調整引当金の増減額（△は減少）	2,100	1,100
受取利息及び受取配当金	△1,529	△1,285
支払利息	27,985	25,487
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,667	－
売上債権の増減額（△は増加）	△249,896	△175,281
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,779	△19,090
仕入債務の増減額（△は減少）	304,438	165,975
その他	9,942	25,565
小計	281,816	280,681
利息及び配当金の受取額	1,529	1,285
利息の支払額	△28,222	△25,487
役員退職慰労金の支払額	－	△156,845
法人税等の支払額	△121,515	△20,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,608	79,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△103,850	△126,600
定期預金の払戻による収入	200,040	165,939
投資有価証券の取得による支出	△1,216	△1,110
有形固定資産の取得による支出	△73,809	△35,216
差入保証金の回収による収入	8,181	10,000
差入保証金の差入による支出	△8,133	△32,187
その他	△1,521	△2,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,690	△22,051
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△506,157	△457,180
自己株式の処分による収入	－	49,797
配当金の支払額	△28,765	△29,067
リース債務の返済による支出	△30,218	△32,842
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,859	30,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	372
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	188,209	88,556
現金及び現金同等物の期首残高	712,051	502,706
現金及び現金同等物の四半期末残高	900,260	591,263

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年６月12日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を決議し、平成24年６月27日に払込手続が完了いたしました。

この結果、当第２四半期連結累計期間において利益剰余金は25,262千円、自己株式は75,060千円それぞれ減少し、当第２四半期連結会計期間末において利益剰余金は1,243,654千円、自己株式は71,056千円となっております。